



リハビリ便り

蒸し暑く、寝苦しい日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

今月は、ご自宅での支援の一つである、訪問リハビリについて紹介します。

訪問リハビリとは？

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門職が直接、ご自宅や施設などの実際の生活場面に訪問します。ご自宅で「安心・安全に生活を送りたい」などの希望を叶えるために、支援をしていきます。

訪問リハビリ介入点

- ☆退院後の動作評価・練習
- ☆自宅での役割の獲得
- ☆手摺り設置場所など環境調整
- ☆自宅で身体介護の方法の助言・提案
- ☆全身の体調確認等

訪問リハビリの実際

○ご家族への指導の一例

① 移乗動作の介助指導
介助者自身の手の回す位置や足を置く位置、重心の使い方の助言などを行います。



② 玄関の段差昇降介助

玄関を登り降りする際の身体の支え方や手摺りなどの支持物を持つ方法などといった助言を行います。



○体調確認の一例

訪問リハビリを実施する前に全身状態や体調の確認を行います。
夏場は特に熱中症を予防するため、左記などの確認、助言を行います。

- ★水分摂取の促し
- ★水分を取る時間帯や摂取量の確認



- ★訪問看護への共有
- ★水分の摂取状況
- ★状態確認の依頼



- ★屋外歩行を通して外出時の身だしなみの助言等を行う



訪問リハビリに関するご相談

問い合わせ先：リハビリテーション課
担当者 安東・小名川

電話：097-597-5777（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。

または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。



（作業療法士：佐藤・植木）

やすらじ

退院直後や在宅の生活を送る中で、困りごとや不安なことがあります。ら、お気軽にご相談下さい。